

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 21日 更新

事務事業名		市債利子管理事務		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康	所属部	会計	課長名	坂本 政誠
	施策	3	財政の健全化	所属課	会計課	担当者名	山本 美代
	施策の柱	13	財政事務の適正な執行	所属班	会計班	(内線)	1002
予算科目	会計一般	款 12	項 1	目 2	事業連番 11532	根拠法令 地方自治法第235条の3 合志市会計規則第54条	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・地方自治法第235条の3及び合志市会計規則第54条に基づき、歳出予算内の支出をするため、一時借入金の借入れを行っている。
【業務の流れ】	①一時借入及び一時借入に係る貸付利率見積書の徴収 ②借入先の決定及び借入 ③元利償還を遅滞なく行う
【主な予算費目】	利子償還金
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	一時借入金の借入れ 利子償還【基準額に達しなかった理由】 2,000,000,000円を0.120%の利率で100日間借入れるところで予算化していたが、0.100%の利率で75日間の借入れで済んだため。	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 一時借入及び一時借入に係る貸付利率見積書の徴収 借入先の決定及び借入 利子償還
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 → イ 一時借入手続き回数	予算の主な増減の理由
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 歳出予算内の支出		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア 一時借入金額 千円 イ 利子償還額 千円
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 歳出予算内の支出を円滑に行う		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア 資金不足に陥った日数 日 イ
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠 歳出予算内の支出を円滑に行うことが目標であり、資金不足の日数を成果指標にすることで、その数値が低いほど目標を達成していることになる。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	ア	回	2	2	1	1	1	1	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	千円	2,000,000	3,800,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0
	イ	千円	266	294	658	411	658	658	658	0
③ 成果指標	ア	日	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	266	293	658	411	658	946		
	(A) 事業費計	千円	266	293	658	411	658	946	0	0
人件費	(A)のうち指定経費	千円	266	293	658	411	658	946	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	3	2	2	2	2	2	0	0
延べ業務時間	時間	42	285	0	285	0	0	0	0	
(B)人件費計	千円	0	1,127	0	1,123	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	266	1,420	658	1,534	658	946	0	0	

事務事業名	市債利子管理事務	所属部	会計	所属課	会計課
-------	----------	-----	----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 一時借り入れ2月、1回の見込み。しかし、借入額は20億円予定
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 年度末は資金不足が必ず発生するため
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は利子の償還額であることから、資金を借り入れ先は競争入札を行い最低利率の金融機関から借入を行っている。融資利率は景気経済に左右されるため、融資に対する利率の把握は難しいが、借入先の利率が前年度比で低ければ、削減となる。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低の業務時間のため、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 現在、市の指定金融機関・収納代理金融機関から貸付金利の競争見積り入札を行っている。借入先の決定は最低利率の金融機関であり、公平である。引き続き、競争入札により決定する。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 一時借入金の利子償還であることから、他への移行はできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成30年度も一時借り入れを行い歳出予算内の支出を円滑に行うことができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						